

## 受講申込書（生産技術用）

申込 平成 年 月 日

ふりがな			性別
氏名			男・女
住所	〒 ー		
生年月日	年	月	日 ( 歳)
電話番号			
ファクシミリ			
日中の連絡先 (携帯電話など)			
e-mail			
研修希望作目		研修希望地域	
その他特記事項	(宿泊場所の必要性, 研修条件等あれば記載)		

以下は受講に必要な事項ですので、必ずお答え下さい。

1 申込時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。
1 既に就農している（兼業を含む）。（ 年 前 から）
2 今は就農していないが就農する予定である。（ 年 月 頃 から）
3 その他（ ）
2 これまでに、農業の経験又は農業に関する研修受講の経歴がありましたら、記入してください。
3 この研修に期待されていることを記載してください。
4 研修終了後の農業経営の予定について、具体的に記載してください。

この申込書は、就農支援のために利用するもので、他の目的で利用することはありません。  
徳島県立農林水産総合技術支援センター内で共有化し、受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

## 受講申込書（加工技術用）

申込 平成 年 月 日

ふりがな			性 別
氏 名			男 ・ 女
住 所	〒 ー		
生年月日	年	月	日 ( 歳)
電話番号			
ファクシミリ			
日中の連絡先 (携帯電話など)			
e-mail			
研修希望作目		研修希望地域	
その他特記事項	(宿泊場所の必要性, 研修条件等あれば記載)		

以下は受講に必要な事項ですので、必ずお答え下さい。

<p>1 申込時点での農業に関する状況について、該当する番号を○で囲んでください。</p> <p>-----</p> <p>1 既に就農している（兼業を含む）。（ 年 前から）</p> <p>2 今は就農していないが就農する予定である。（ 年 月頃から）</p> <p>3 その他（ )</p>
<p>2 これまでに、農産物加工の経験又は農産物加工に関する研修受講等の経歴がありましたら、記入してください。</p> <p>-----</p>
<p>3 この研修に期待されていることを記載してください。</p> <p>-----</p>
<p>4 研修終了後の農業経営の予定について、具体的に記載してください。</p>

この申込書は、就農支援のために利用するもので、他の目的で利用することはありません。  
徳島県立農林水産総合技術支援センター内で共有化し、受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。

## 受講申込書（農業入門コース用）

申込 平成 年 月 日

ふりがな			性別
氏名			男・女
住所	〒 ー		
生年月日	年	月	日 ( 歳)
電話番号			
ファミリ			
日中の連絡先 (携帯電話など)			
e-mail			
研修希望作目		研修希望地域	
その他特記事項	(宿泊場所の必要性, 研修条件等あれば記載)		

以下は受講に必要な事項ですので、必ずお答え下さい。

<p>1 就農意欲 (該当に○)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>1 就農に関心がある                  2 就農に強い関心がある                  3 就農したいと考えている                  4 できるだけ早く就農したい</p>	<p>2 農業経験 (該当に○)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>1 まったくなし                  2 学童農園程度                  3 家庭菜園程度                  4 その他 <u>具体的に記入</u> <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</span></p>
<p>2 これまでの、農業に関する研修の受講経歴について記入してください。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>	
<p>3 この研修に期待されていることを記載してください。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>	
<p>4 研修終了後の農業に関する予定について、具体的に記載してください。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>	

この申込書は、就農支援のために利用するもので、他の目的で利用することはありません。  
 徳島県立農林水産総合技術支援センター内で共有化し、受講後のフォローアップに役立てるため利用する場合があります。